

第3回「ネーチャーフェスティバル」開催 (2006年5月3日)

約7000人の来場者で会場は賑わい、跡地の森づくりと水源の森の再生のために「木を使うこと」を広報

★このイベントは、2005年度より神奈川県との協働事業に位置づけられ(5年間)、

実行委員会形式で、協働事業助成金と賛助金等で運営。



NPO協働で県産材「檜舞台」を考案

山梨県の水源の森の材でシンボリタワー&和の空間づくり



伊勢原森林里山研究会が、都市の子どもたちにぜひ体験させたいと「落ち葉のプール」と「丸太のジャングルジム」を発案
制作に4か月かかり、川崎からも皮むき体験に参加！ 子どもたちは手作りの「子どもの森広場」に大満足！

「木と暮らす生活」提案がいっぱい ~木を使うことは森を守ることアピール~



住宅相談「県産材を使って森を守ろう」

シイタケのオーナー募集中！ 地球・命を救う炭販売！



子どもの森ワークショップ(水源の森の樓みでパームクーヘン作り他)



地場野菜の「新鮮市」 生産者と消費者との顔の見える関係



大人気のミニ電車には長蛇の列！ ここはかつて東洋一の操車場だったんだよ！



森のオーガニックカフェ



イベントを通して「都市と水源の森をつなぐ」 NPO法人緑のダム北相模の活動に参加し、荒れた竹林を伐採し竹 TENT を作る。



前日の竹TENT・檜舞台の組み立て作業



食器」の導入（運営：東洋大学サークル「アカシアの木」）汚れた食器は古布で拭いてから回収箱へ

ゴミを出さないイベント「リユース